

土砂災害に注意

わたしの家は大丈夫？

9月1日
は
防災の日

1時間の雨量と雨の降り方

1時間の雨量	雨の降り方
8～15ミリ	雨の降る音が聞こえる。
15～20ミリ	地面一面水たまり。雨音で話し声がよく聞こえない。
20～30ミリ	どしゃ降り。大雨注意報。側溝がたちまちあふれる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る。大雨警報。場合により、避難の準備を始める。
50ミリ以上	滝のように降る。土石流が起こりやすい。

一瞬にして人命や大切な財産を奪う土砂災害。土石流、地すべり、がけ崩れなど土砂災害のほとんどは、長雨や大雨が引き金となって起こります。被害を最小限に抑えるために、私たちの家のまわりの危険箇所を確認し、災害に備えて非難場所や避難経路について、普段から家族で話し合っておくことが大切です。

雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。本年七月十八日当市を襲った集中豪雨は一時間に四十四ミリの雨量を記録し、がけ崩れなどの被害をもたらしました。一時間に二十ミリ以上、または降り始めてからの雨量が百ミリ以上になったら十分な注意が必要です。長雨や大雨で危険を感じたら、早めに避難しましょう。

避難場所は決まっていますか？

市内には六十八カ所の指定避難場所があります。普段から家族全員で避難する道順と避難場所を決めておきましょう。災害が起きたとき家族全員が一緒にいるとは限りません。そんなときも、あらかじめ避難場所を決めておけば安心です。

非常持ち出し袋を

用意していますか？

懐中電灯、携帯ラジオ、薬品、非常食などの非常持ち出し品を準備し、リュックサックなどに入れてまとめておくと安心です。定期的な点検も行いましょう。

恐ろしい土砂災害を防止するために、現在さまざまな対策が行われていますが、それだけでは十分に災害を防ぐことはできません。被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが気象情報などに注意して早めに避難することが大切です。

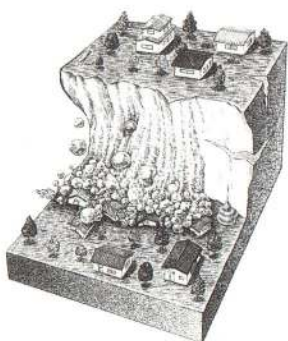
問い合わせ先 総務課

☎ 49-3111 (内線259)

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れるひとも多く、死者の出る割合も高くなります。
(前ぶれに注意)

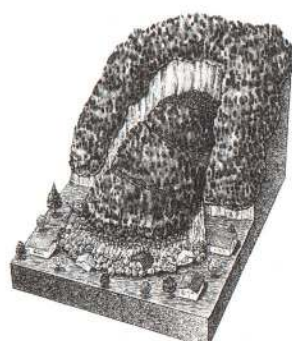
- ・ がけから流れ出る水が濁る
- ・ がけにき裂が入る
- ・ 小石がパラパラ落ちてくる



地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が地下水の影響などで、ゆっくりと動き出す現象です。一度に広範囲で発生するために、住宅、道路などに大きな被害を及ぼします。
(前ぶれに注意)

- ・ 地面にひび割れができる
- ・ 沢や井戸の水が濁る
- ・ 斜面から水が吹き出す



土石流

谷や山の斜面の土・石・砂などが、台風などの集中豪雨による水と一緒に流れて、一気に流れ出てくるのが土石流です。破壊力が大きく、また速度も速いので大きな被害をもたらします。
(前ぶれに注意)

- ・ 山鳴りがする
- ・ 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ・ 川の流れが濁ったり、流木が混ざりはじめる

